



農林中央金庫



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）
を支援しています。



三菱地所物流リート投資法人

2022年10月21日
農林中央金庫
三菱地所物流リート投資法人

農林中央金庫・三菱地所物流リート投資法人による サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）と、三菱地所物流リート投資法人（執行役員：高梨憲、以下「MEL」）は、サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）による金銭消費貸借契約（以下「本件ローン」）を締結いたしました。両社の SLL は 2022 年 3 月 1 日実行のローンに続き 2 回目となります。

SLL は、借り手の ESG 戦略に基づくサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件を SPTs の達成状況に連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促進し、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長を支援することを目指すものです。

MEL は、環境への配慮・社会貢献・ガバナンスの強化といった、社会の持続可能性（サステナビリティ）向上に取り組んでいくことが、上場投資法人として期待されている社会的責務であり、投資主価値の最大化を図る上でも不可欠であると考えています。この考えを実践するため、MEL の資産運用会社である三菱地所投資顧問株式会社とともにサステナビリティに対する考え方を共有し、2019 年 4 月に基本指針である「サステナビリティ方針」を定めました。この方針に基づき、日々の業務において ESG への取り組みを実践しております。更に 2021 年 12 月には、気候関連財務情報タスクフォース（TCFD）提言に賛同するとともに、MEL におけるマテリアリティやリスクと機会の特定、その分析評価や KPI（Key Performance Indicator）の設定を行いました。

また、当金庫は、自らの存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみならずともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。2021 年 5 月に発表した中長期目標において、2030 年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額を 10 兆円とする目標を掲げるなど、サステナブル経営に向けた歩を進めており、MEL のサステナビリティ戦略にかかる理念にも共感しています。本件ローン対応を通じて、CO2 排出量削減をはじめとした MEL による気候変動問題の解決に資する取り組みを支援してまいります。

本件ローンでは、MEL の特定したマテリアリティに基づく目標を踏まえて、CO2 排出量（2030 年度目標：2017 年度比 30%削減、原単位ベース）、エネルギー消費量（2030 年度目標：2017 年度比 15%削減、原単位ベース）、グリーンビルディング認証取得割合（2030 年度目標：100%）に加え、本件ローン独自の SPTs としてGRESBリアルエステイト評価（目標：2030 年度まで 4 Stars 以上取得の継続）を SPTs に設定いたしました。

【本件に関するお問い合わせ先】
 農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班 03-6362-7172
 三菱地所投資顧問株式会社 物流リート部 03-3218-0030

【本件ローンの概要】

■ 実行日	2022 年 10月25日
■ 融資期間	9 年
■ 金額	20 億円
■ 資金使途	取得予定資産に関する取得資金

【本件ローンが貢献する主な SDGs】

SPTs の内容	貢献する主な SDGs
① CO2 排出原単位：2030 年度までに 30%削減（原単位ベース、基準年 2017 年） ② グリーンビルディング認証取得割合：2030 年度までに 100%まで向上 ③ エネルギー消費原単位：2030 年度までに 15%削減（原単位ベース、基準年 2017 年） ④ GRESB リアルエステイト評価：2030 年度まで 4 スター獲得の継続	   

【参考リンク】

MEL の ESG サイト：

<https://mel-reit.co.jp/ja/esg/>

以上